



平井城跡〈西平井〉



伝山上杉顯定公愛用の基盤（裏面）



伝山上杉顯定公愛用の基盤



飾り大刀（平井地区1号古墳）



白石稲荷山古墳〈白石〉



円筒埴輪（七興山古墳）



家形埴輪（白石稲荷山古墳）



本郷埴輪窯址〈本郷〉

We are FUJIOKA.  
**イトコ!**  
藤岡らしさ  
のある  
歴史と文化

「We LOVE ふじおか」なヒト・モノ・コト。



胸塚稲荷古墳〈岡之郷〉

- 1600年 芦田城廃城
- 1591年 芦田康貞が動堂観音堂を現在地（古桜町）に移し「動堂通り」ができる
- 1590年 成立。藤岡の町の基礎が整備される
- 1591年 芦田康貞が動堂観音堂を現在地（古桜町）に移し「動堂通り」ができる
- 1582年 神流川合戦

安土桃山時代

- 1552年 上杉憲政、北条氏康に攻められ平井城から退去、後に越後へ亡命
- 1467年 平井城が拡張される

戦国時代

- 1466年 上杉顯定、山上上杉家を継ぎ、上野国守護・関東管領となる
- 1438年 平井城・金山城を築城
- 1439年 上杉憲実、鎌倉を出て上野国平井に退去する

室町時代

上杉憲顕が関東管領となる。以後上杉一門が関東管領を独占

平井城・金山城を築城  
上杉憲実、鎌倉を出て上野国平井に退去する  
関東管領上杉憲実、足利学校を再興する

- 1271年 日蓮が佐渡へ流される途中、下栗須の長谷川重源の家に寄り、教えを説く。また、常岡鮭塚に富士浅間神社（宮本町）を勧請する

鎌倉時代

最澄が緑野寺（後の浄法寺）で法会を行う  
緑野郡に伊勢神宮領の高山御厨が置かれる

平安時代

- 815年ごろ 道忠により緑野寺が創建
- 756年ごろ 瓦の生産、上野国分寺に供給
- 758年ごろ 須恵器の生産

奈良時代

牛田に古代寺院が建立（牛田廃寺跡）

古墳時代

白石稲荷山古墳がつくられる

古代

七興山古墳がつくられる  
本郷や白石で埴輪が盛んに焼かれる



芦田城跡〈藤岡〉



Pick up

藤岡歴史館

企画展示室・常設展示室を備え、市内から出土した土器や石器、埴輪などを展示しています。群馬県内から出土した埴輪の人気投票を決める「群馬 HANI-1（はにわん）グランプリ」（2018年開催）において、グランプリの座に輝いた「笑う埴輪」の特設コーナーもあります。



道忠禅師供養塔〈浄法寺〉



牛田廃寺跡と周辺（発掘調査当時）〈牛田〉



七興山古墳〈上落合〉



浄法寺相輪塚〈浄法寺〉

養蚕という技を高山社で学び、広げていってくれた先人たちのように、藤岡の歴史と文化の良さと素晴らしさを紡いで、子どもたちに伝えていきたいと活動しています。

除村 和子さん  
高山社顕彰会のメンバー。座繰り体験の実演・解説を行っている。

